令和６年度　会派調査研究報告書

（視察先１箇所につき１枚）

会　　派　　名	新生会
事　　業　　名	先進地視察：旭川市「ICT パーク」について
事　業　区　分	①　研究研修　　②調　査

１　上田市での課題と研修・調査の目的

ネット上で行う対戦ゲームを「スポーツ競技」と捉えた『ｅスポーツ』は、IOC＝国際オリンピック委員会が大会を新設するなど、近年、世界中で急速に人気を高めている。
まちなかの賑わい、ICT に関心の高い人材の育成、IT 関連企業誘致や最先端技術の導入などを目的として開設された「ICT パーク」を視察し、今後の上田市においての参考としたい。

２　実施概要

実施日時	視察先	担当部局
令和６年８月 ７ 日(水) 15:00～16:30	旭川市 ICT パーク	・旭川市議会事務局　岸山貴祐　主査 ・ICT パーク 服部慎一 様 （一社）大雪カムイミンタラ DMO マネージャー

報告内容・感想（まとめ）・市政に活かせること

１　視察先の概要

◇場所：旭川市３条通８丁目 神田館（JR 旭川駅より徒歩５分）
（旭川市は北海道のほぼ中央に位置し、道内第二の人口約 32 万人を有する中核市）

◇開設：令和３年２月７日

◇管理・運営：一般社団法人大雪カムイミンタラＤＭＯ

２　視察内容

◇施設：「ICT パーク」の名の通り、５つの施設が複合している。

①　<u>トレーニングジム（1F）</u>

・営業時間：12：00～21：00（最終入場 20：00）
※保護者同伴でない中学生の利用は 18：00 迄

・利用料金：＜一般＞　１時間：500 円、３時間：1,000 円、
５時間：1,500 円、１日：2,000 円
＜18 歳以下＞　無料　　〃
＜貸切利用料金＞　１時間：3,000 円、３時間：6,000 円
５時間：9,000 円、１日：12,000 円

・ｅスポーツのトレーニングを行うための施設。

・ｅスポーツを通じて学校や世代、障害の枠を超えたコミュニケーションスペースとして利用可能。

・昨年(2023 年)は、延べ約 2,000 人が利用（90%が高校生）
・常駐のインストラクターは置いていないが、ｅスポーツに通じた専門的な人がいる。
・飲食可能な休憩スペースを併設。
・プログラミング教室や小規模なイベント等も開催可能。
・主な設備→・GALLERIA 製のハイスペック PC10 台 ・Logicool 製デバイス・プロジェクター設備
※PC＋モニター＋椅子+etc1set 約 30 万円（×10）

② スマートイノベーションラボ 北海道 旭川ルーム（1F） Smart Innovation Lab ―WA-

・NTT 東日本が設置した施設。（その他拠点、札幌、仙台、東京蔵前）
・AI・IOT 技術の社会実装を支援している。
・NTT 東日本とパーソナル企業がここを拠点にして、AI・IOT の先端技術で新しい物を作ったり、中小企業の課題解決をサポート。（農業、畜産業、スマートシティ等）
・LUN ケーブルで札幌にある GPU サーバーに繋がっていて、ここで AI の処理や画像認識ができる。
・10 月からは、旭川高専が GPU サーバーを使った授業を行う予定。
・NTT 東日本は常駐していないので、日常管理をしながら必要なときには使うことができる。

③ Worcu-pet（ワークーペ）（1F）

・営業時間：8:00～24:00
・利用料金：500 円/1 時間、3,000 円/月
・管理人のいない無人のコワーキングスペース。
・東京の IT 企業が運営している。
・机や椅子は旭川家具。
・基本はアプリで管理している。（スマホ）
・平日で約半分埋まる程度の利用状況。
・会員は 200 人強。
・それ以外に、複数人で会議のできるフリースペースあり。（1,000 円/1 時間）

④ ｅコミュニケーションスペース（1F）

・フリーWi-Fi が整備されたコミュニケーションスペース。
・ゲーム機などを持ち寄って、気軽に交流を楽しめる場として、自由に利用することができる。
・ｅスポーツを通じた交流促進以外の目的使用は不可。

⑤ コクゲキ（3F）：旧、旭川国民劇場（昭和から旭川市民に親しまれていた映画館）

・利用料金
＜平　日＞半日：70,000 円、一日：120,000 円
＜土日祝＞半日：80,000 円、一日：150,000 円
（4 時間までの利用が半日）
・約 180 名が収納できる劇場型イベントホール。
・北海道におけるｅスポーツの拠点施設として、全道・全国大会は勿論、世界大会の登竜門の場として展開
・音響・照明設備も備えられ、ｅスポーツ以外の多種多様なイベントに対応可能。

・イベントは、平均週一回程度の開催実績。
→本格的なｅスポーツ大会、トークショーや講演会、セミナーやシンポジウム、社内表彰式等。
・主な設備→・大型 LED ビジョン（約 5m×3m）、・高性能ゲーミング PC10 台
・音響・照明設備、・リアルタイム配信が可能な映像設備

◇詳細

・元の映画館のオーナーさんが、改装にかかるイニシャル部分の投資（数千万円）をしてくれた。
→行政からはほとんどイニシャルコストは出していない。
・NTT さんが 5G の実証実験の地区としてこの施設を使ったものがそのまま残っているものもある。
・DMO が委託を受けている運営費は、総事業費で年間 5,000～6,000 万円、管理費が約 4,000 万円、
→管理費＋αが市からの負担金（約半分が地方創生推進交付金）。残りは貸し館収入や別の補助金。
・オーナーさんは家賃収入。→一年ごと契約更新している。
・中心市街地で、バスの乗り換え等で高校生等が滞在することを狙った。
・幾つかの大学があり、学生も多い。
・ｅスポーツの優秀な選手の育成だけに特化するというより、ゲームに興味を持ってくれた人に対して、ICT 分野の仕事に繋げていく→ICT 人材の育成。

３　まとめ

・ｅスポーツが、全世界で１億人を軽く超える競技者がいて（野球競技者よりも多い）、今後、更に競技人口が増えていくと言われていること。また、男女差、年齢差、そして近年では、身障者も健常者も関係なく競技することができる本当の意味でのボーダレススポーツであるということ。そして、オリンピックの正式種目になるとも言われていることを知り驚いた。

ICT パークは、旭川市における ICT 人材の育成、そして、若者に人気のｅスポーツを通じて町の活性化、賑わいの創出など目指すという目的を形にした施設になっていると感じた。

上田市においても、マルチメディア情報センターの後継施設である、「市民ＩＣＴ支援センター」（仮称）が R7 年秋に開館予定となっており、改めてその役割は大きいと感じた。詳細についてはまだ把握できていないが、子どもからシニア世代まで、多くの市民に親しまれ、ICT を体験・学習することができる市民のデジタル活用を推進する拠点として、また ICT 人材の育成に繋がる施設として、上田市が目指すデジタル先進地に寄与する施設となることを期待し注視していきたい。

＊　視察先の写真等がある場合は添付のこと